

	評価理由
<p>① 日本遺産という資源を活かした地域づくりについての将来像（ビジョン）と、その実現に向けて日本遺産地域として取り組む具体的な方策が適切に示されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ビジョン、指標、事業を総合的に検討することが望ましい。</li> <li>■ 足袋蔵体験に限らず、なぜ足袋の産地となったのか、ストーリーに沿って、様々な構成文化財を積極的に活用するための方策について、更なる検討・具体化が望ましい。</li> <li>■ 事業内容に対する予算の裏付けが十分ではなく、自走に向けた計画となるよう、更なる検討・具体化が望ましい。</li> <li>■ 一部の事業について目標が低かったり、観光事業化については、事業内容を踏まえると事業費が計画に明確に位置付けられておらず、ストーリーの体験を促していくような取組となるよう、更なる検討・具体化が望ましい。</li> <li>■ 足袋蔵の活用に向けて、それが集中している中心市街地の魅力創出と景観整備に期待するとともに、足袋蔵を巡る楽しさの訴求や他の体験との組み合わせによる地域全体の魅力の向上について、更なる検討・具体化が望ましい。</li> <li>■ 足袋及びその派生品の販売・体験というストーリーの一部に事業内容が限定されており、足袋蔵に限らない市内に残る歴史的建造物を活用した観光コンテンツの開発について、更なる検討・具体化が望ましい。</li> </ul>
<p>② ストーリーへの国内外への戦略的・効果的な発信など、日本遺産を通じた地域活性化の推進が可能となる体制が整備されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 足袋蔵の活用に向けて、新たな事業創出とDMO等のこれを牽引する核となる主体の育成について、更なる検討・具体化が望ましい。</li> <li>■ 協議会が司令塔の役割を果たし、関係自治体やDMOといった民間事業者との連携や目標達成に向けた明確な責任体制を構築することが望ましい。</li> <li>■ 足袋のまちとしての認知度向上及び誘客促進のため、足袋の技術を活かした新たな商品開発など、技術と話題性を融合させた誘客戦略について、更なる検討・具体化が望ましい。</li> <li>■ 足袋産業の後継者育成という視点と、日本遺産事業の運営という視点から組織を作ろうとしていることは理解できるものの、事業費が少なく、自立・自走に向けた実施体制となるよう、更なる検討・具体化が望ましい。</li> </ul>
<p>総合評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 地域全体を牽引し、活動を取りまとめる中核人材の存在と活躍の場を作ることが重要。足袋は核だが、これだけにとられない、地域の文化資源を日本遺産ストーリーに沿って総合的に活用する計画・事業づくりが望ましい。</li> <li>■ 足袋蔵を活かしたまちづくりについては期待できるものの、足袋だけでなく、足袋と関連した日本文化を組み合わせた施策について、更なる検討・具体化が望ましい。</li> <li>■ これまでの6年間の取組を基盤とし、自立・自走に向けた計画となるよう、更なる検討・具体化が望ましい。</li> </ul>
<p>評価結果</p>	<p>再審査</p>